

「非常持ち出し品」を準備しておきましょう！

「非常持ち出し品」は、災害発生時に、安全に避難するための必要最低限のものです。いざという時に持ち出しやすい場所に置きましょう。

また、普段からカバンに防災グッズを入れておくとう安心です。

その際には持ち運びできる量に注意しましょう。

なお、非常持ち出し袋はひとりに一袋にしましょう。



「非常持ち出し品」を ☒ チェック ※内容は一例です。

☐ 飲料水 (500ml×2、3本)



☐ 食料 (そのまま食べられるもの1～2食)



☐ 常備薬 (処方箋・お薬手帳)



☐ 携帯トイレ



中身の
チェックは
定期的に！



日用品など

☐ 懐中電灯



☐ 雨具



☐ ウエットティッシュ



☐ 携帯ラジオ



☐ タオル

☐ ポケットティッシュ

☐ 携帯電話・充電器



☐ ホイッスル

☐ マスク

☐ 救急セット

☐ 上履き・スリッパ

貴重品など

☐ 現金

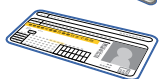


☐ 通帳・印鑑



☐ 身分証明書

☐ 家族の写真



そのほか必要なもの

☐

☐

☐

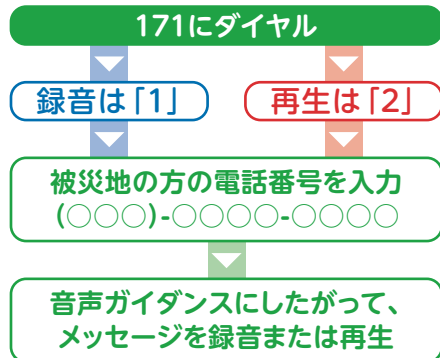
☐

このほかにも乳幼児用品、高齢者用品、ペット用品、障害者手帳や車イスなど、それぞれが必要なものを確認し、備えておきましょう。

安否確認

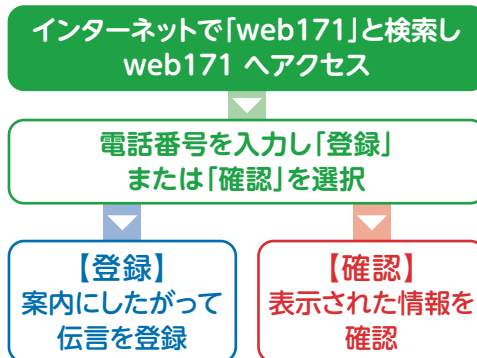
災害時は固定電話も携帯電話もつながりにくなります。家族や友人との安否確認方法を決めておきましょう。

①災害用伝言ダイヤル〈171〉



※対象は被災地の方の電話番号のみです。
録音は1伝言30秒以内です。

②災害用伝言板〈web171〉



③災害用伝言板

災害時は携帯電話各社が災害用伝言板を提供します。災害用伝言板では、安否情報の登録・確認ができます。これらの災害用伝言サービスは、毎月1日と15日、防災週間（8月30日から9月5日）、防災ボランティア週間（1月15日から21日）、正月三が日（1月1日から3日）に体験利用ができます。事前に利用方法を確認しておきましょう。



緊急連絡先

家族や安否確認をとりたい人の連絡先を記入しておきましょう。

名前	電話番号	名前	電話番号
-----	-----	-----	-----
名前	電話番号	名前	電話番号
-----	-----	-----	-----
名前	電話番号	名前	電話番号
-----	-----	-----	-----

「避難所での生活」に備えましょう。

避難所は、被災により自宅に住めなくなった人が一時的に過ごす場所で、町内会や自主防災組織等を中心に運営を行ないます。あらかじめ地域の避難所や経路などを確認しておきましょう。また、避難所では周りの人と協力し、避難所の運営や、炊き出し、給水活動、応急救護などを行ないます。災害時にスムーズに活動できるよう地域行事や普段の訓練などに参加して地域での交流を図りましょう。

感染症対策

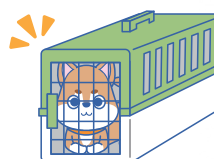
避難所では、手洗いの徹底など感染症対策へのご協力をお願いいたします。また災害時にはマスク・消毒液・体温計が不足します。できるだけ自ら携行してください。



災害時のペット対策 “事前の備え、しつけと健康管理”

避難所生活に適應できるよう、日頃から必要なしつけと健康管理を行ないましょう。

- むやみに吠えないようしつける
- ケージに入ること嫌がらないようにする
- 各種ワクチン接種、寄生虫の予防駆除を行なう



※犬、猫、小鳥等の小動物を想定しており、人に危害をくわえるおそれのある大型動物や危険動物は含みません。

◎多様性への配慮を

避難所では多くの人と一緒に生活します。そのため、高齢者、障害者、乳児・妊婦、女性、外国人など、多様な人々への配慮や、プライバシーの確保などが必要となります。思いやりや助け合いを心掛けましょう。

